

ハロウィン

ハロウィンとは、毎年10月31日に行われる、古代ケルト人が起源と考えられているお祭りのことです。現代ではアメリカ合衆国で民間行事として定着し、カボチャをくりぬいて飾ったり、仮装してお菓子をもらったりする風習があるそうです。

シエル名島ではかぼちゃコロッケを提供したり、魔女などのカチューシャをつけていただいたりしてハロウィンを楽しんでいただきました。

広報紙

月刊シエル

社会福祉法人晃和会
別荘棟老人ホーム
シエル名島

令和3年 11月号

社会福祉法人 晃和会
〒813-0043
福岡市東区名島3丁目52番5号
TEL 092-673-1800
FAX 092-673-2626

デイサービスセンター名島



いつもご覧いただきありがとうございます。寒暖の差が激しく秋の季節をすっ飛ばして、えっ！？なんだもう冬なのかと呆気に取られてしまいました。そうした中でも、当デイサービスはいつも元気に営業しております！今後も手先や頭を使う工作作業や脳のトレーニングを行い認知症予防の取り組みを行ってまいります。いつでも楽しんで頂けるよう精進して参りたいと思います。





2021年10月18日は「十三夜」のお月見です。旧暦9月13日にあたる日の月を鑑賞する習慣で、中秋の名月「十五夜」に続く月ということから「後(あと)の月」とも呼ばれます。

お月見というと、旧暦8月15日(2021年は9月21日)の中秋の名月を愛でるイメージがありますが、それだけではありません。旧暦9月13日の月を鑑賞する十三夜のお月見もあります。中秋の名月(十五夜)が中国から伝わった風習と言われる一方で、この十三夜に浮かぶ月を見る習慣は日本独自のものです。一説によると、日本で十三夜のお月見が始まったきっかけは天気にあるそうです。中秋の名月の頃の日本は長雨や台風の季節。天気が悪く、月が雲に隠れ見えなくなってしまう「無月」になることも多いのです。そこで晴れることが多いと言われた旧暦9月13日にもお月見をし、秋の実りに感謝する風習が広まりました。

十三夜は収穫を祝う行事でもあることから、栗や豆などを供えて食べる習慣があります。この他、収穫されたブドウなど果物や野菜を供えて秋の実りに感謝します。

また諸説ありますが、十三夜で供える月見団子の数は13個、または簡略化して3個とされています。

今年の福岡は曇りで月が見えない地域が多かったですね。来年こそは皆さんでお月見が出来たらいいと思います。



ショートステイ



10月10日は「**体育の日**」、これは昭和39年に東京オリンピックの開会式を記念してできた休日です。それが平成12年に

10月の第2月曜日になり、平成30年には名前が「**スポーツの日**」に変わりました。

そして、令和2年と3年は特別に、東京オリンピックの開会式のため7月にスポーツの日があったので、わからなくなった方も多いかもかもしれません。令和4年以降は従来通りに10月の第2月曜日に「スポーツの日」があるそうです。

「スポーツの日」は、「**スポーツを楽しみ、他者を尊重する精神を培うとともに、健康で、活力ある社会の実現を願う**」という趣旨があります。

ショートステイでは、体操をしたり、スポーツ番組を観戦したりしています。

楽しみながら健康に過ごしていただきたいと思います。



スポーツの日